

## 1-10 どんな基準で分類する

- ①地上部の形と大きさ
- ②花の付き方と開花時期(早～晩)
- ③収穫するまでの期間(短～長)
- ④莢やマメの形と色

植物の各個体は固有の形と性質を持っていますが、それを総合的に解析して、グループ分けし、個体の属性を明らかにすることが植物分類学です。

落花生の分類でも、出来るだけ多くの形と性質(形質)を調べ、それに基づき分類します。よって正解は①～④の全てとなります。その他にも、種子の休眠程度、根の形、生存期間(1年なのか複数年なのか)等、いろいろな形質が調べられ、分類に用いる基準となっています。

これらの基準を基に、下記の表1と表2のように落花生は分類されています。

表1は野生種と栽培種を含めたラッカセイ属全体の分類、表2は栽培種に限った詳しい分類です。同じグループに属するものは、他のグループより遺伝的な親密度が高く、近い親戚であると考えられます。これは、栽培種では栽培の適性を判断したり、品種改良をしたりする上でとても参考になります。また、近年では野生種の病気に強い性質を、栽培種に導入することが試みられるようになりましたが、その際には、分類上の近縁関係が考慮されるようになっています。

分類は日本人の得意とする分野です。熊沢らが行った分類は、合理的な分類としては最初期にあたりますし、前田は不稔雄蕊の頻度で、分類の妥当性を検証しています。

筆者も枝の特定の部位に生じる葉の形で分類する方法を新提案しています。これは品種育成もからんでいるので、詳しくは後ほど。

正解 ①～④

表 1 ラッカセイ属の系統分類

- 
- 1 Trierectoides 節  
    *Arachis guarantica* 他 1 種
  - 2 Erectoides 節  
    *Arachis Martii* 他 15 種
  - 3 Extranervosae 節  
    *Arachis setinervosaii* 他 9 種
  - 4 Triseminatae 節  
    *Arachis triseminata* 1 種
  - 5 Heteranthae 節  
    *Arachis Giacometti* 他 5 種
  - 6 *Arachis* 節  
    *Arachis hypogaea* (栽培種) 他 30 種
  - 7 Rhizomatosae 節  
    *Arachis Burkartii* 他 3 種
  - 8 Procumbentes 節  
    *Arachis lignose* 他 9 種
  - 9 Caulorrhizae 節  
    *Arachis repens* 他 1 種
-

表 2 栽培ラッカセイ *Arachis hypogaea* L. の系統分類

- 
1. Subspecies *hypogaea* Krap. et Rig. (亜種 *hypogaea*)  
特性：主茎無着花、1次分枝の1節目は栄養節、分枝の栄養節と結果節の配列は2～3節毎の交互性、晩生、主茎長は短く草型は立性～伏性、種子休眠性は強
    - (1) Variety *hypogaea* Krap. et Rig. (変種 *hypogaea*)
      - 1) Market type Virginia (バージニアタイプ)  
特性：大粒、2粒莢が多い、枝に毛茸は少ない  
原産地：ボリビア、アマゾン (ブラジル西部)
      - 2) Market type Runner (ランナータイプ)  
特性：小粒、2粒莢が多い、枝に毛茸は少ない
    - (2) Variety *hirsuta* Köhler (変種 *hirsuta*)
      - 1) Market type Peruvian Runner (ペルー型ランナータイプ)  
特性：多粒莢が比較的多い、枝に毛茸が多い  
原産地：ペルー
  2. Subspecies *fastigiata* Waldron (亜種 *fastigiata*)  
特性：主茎着花、1次分枝の1節目は結果節、分枝には栄養節より結果節が多くその連続性が高い、早生、小粒、主茎長は長く草型は立性、種子休眠性は弱
    - (1) Variety *fastigiata* Waldron (変種 *fastigiata*)
      - 1) Market type Valencia (バレンシアタイプ)  
特性：多粒莢が多い、莢の網目は浅い～中、結果節の連続性が高く分枝が少ない  
原産地：ブラジル (Guarani, Goiás and Minas Gerais)、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ
    - (2) Variety *peruviana* Krap. et Greg. (変種 *peruviana*)  
特性：多粒莢が多い、莢の網目が深い、枝の毛茸が少ない  
原産地：ペルー、ボリビア北西部
    - (3) Variety *aequatoriana* Krap. et Greg. (変種 *aequatoriana*)  
特性：多粒莢が多い、莢の網目が深い、枝の毛茸が多い、分枝が他の亜種 *fastigiata* に比べ、やや多く紫色  
原産地：エクアドル
    - (4) Variety *vulgaris* Harz (変種 *vulgaris*)
      - 1) Market type Spanish (スパニッシュタイプ)  
特性：2粒莢が多い、分枝はやや少ない  
原産地：ブラジル (Guarani, Goiás and Minas Gerais)、パラグアイ、ウルグアイ
-